

## 建設常任委員会視察研修委員長報告

去る10月18日から19日にかけて長崎県雲仙市の県立百花台公園と諫早市の県立総合運動公園を、建設、維持、管理運営面について視察研修しました。

百花台公園は運動施設を中心とした広域公園として整備されて、総事業費70億円。平成2年には全国植樹祭が開催され、例年約14万人に利用されています。県立総合運動公園は全国大会レベルの運動競技が開催できる陸上競技場で、総事業費約69億円。昭和44年長崎国体のメイン会場となりました。毎年九州大会規模の競技が開催され、年間120万人に利用されています。この2つの県立公園の維持管理は公募による指定管理者制度が導入され、受託業者が人件費などの見直しと業務の効率化で県負担金はいずれも減少しています。今後の課題は施設の老朽化に伴う事故などへの対応、維持管理料の増嵩などが懸念されています。今後、神崎市内公園の建設、維持管理、運営などにあたって大変参考になりました。



長崎県立総合運動公園にて研修

## 総務常任委員会視察研修委員長報告

平成19年度総務常任委員会の行政視察研修については自主防災組織の取組を研修項目としました。災害対策基本法は、市町村の責務として、地域防災計画の策定と住民の自発的な防災組織の育成を義務づけています。視察研修地として平成3年雲仙普賢岳噴火災害地である、南島原市で研修。自主防災組織は自治会数427に対し399。組織率は93・4%であり、組織率は高い水準でありました。自主防災組織への助成金については、市からの支援は行われていませんでした。自主防災組織の現在の活動状況は、一部の自治会では、消防署の下で病院、特別養護老人ホームの入所者の避難、消火訓練等がなされていました。神崎市の自主防災組織づくりが急がれることを痛感しました。



火砕流により被災した小学校グラウンドより普賢岳を望む

## 産業経済常任委員会視察研修委員長報告

私達産業経済常任委員会は、昨年10月16日から17日にかけて大分県玖珠郡九重町「九重『夢』大吊橋」の行政による取り組み、及び熊本県山鹿市の「米米惣門ツアー」の民間による取り組みの2市町の観光行政について視察してまいりました。今回は「天空の吊橋」と全国的に名高い日本一の大吊橋について報告します。九重町の年間予算の1/3の約20億円の巨費で建設され、80名の雇用と、入場者が予想の7倍以上で、すでに起債の一部を繰上げ償還されており、更に子育て支援の予算にも計上されています。今後の課題として一過性に終わらないような付加価値と周辺整備を考えていきたいとのことでした。この取り組みは地元の夢物語から盛りあがった要望を、地元と一体となって進めた理想的な事業であると思えます。神崎市においても「地元のおいても」「地元民によるまちづくり」を改めて推進すべきと感じました。



九重町の「天空の吊橋」

## 議会広報委員会視察研修委員長報告

平成19年11月14日嬉野市議会、15日島原市議会にて『議会だより』の編集作成について視察研修を行いました。

嬉野市議会の議会だよりは、平成18年4月創刊で年間発行回数4回、オールカラー印刷で作成されています。

同紙は、旧嬉野町議会だよりを継承しており、その内容充実度と紙面の読み易さは多くの市町議会でも高い評価を受けています。

島原市議会の議会だよりは、昭和34年11月創刊で年間の発行回数4回、表紙のみカラー印刷で作成している歴史ある議会だよりです。

### 視察研修の成果

- ・『読ませたい』ではなく『読みたい』紙面づくりを目指す。
- ・編集作業は、いかに読んで貰うか、また読む気を起こさせる紙面づくりを基本とする。
- ・行政用語の使用は控えて普段の言葉で記載する。
- ・読み易くするため余白を多く利用し、それぞれ使用する写真の大きさは統一する。
- ・難しい内容については、見出しに回答のヒントを記載してわかり易くする。



嬉野市議会広報委員会研修

## 文教厚生常任委員会視察研修委員長報告

文教厚生常任委員会は平成19年11月21日から22日にかけて、長崎県平戸市及び、西海市において研修を実施しました。先ず平戸市においては、「三世代いきいき交流事業」と「高齢者地域ふれあい事業」を研修しました。三世代いきいき交流事業は、活力ある地域づくりに取り組んでいる老人クラブを支援しています。しかし、予算が少額で今後の活動に悩んでおられました。次にふれあい事業は在宅の高齢者が生き生きとした老後の生活を支えるボランティア団体を組織し、総合的な福祉の向上を支援するものでした。西海市の社会福祉協議会は、その役割を整理され運営に自信を持たれ「祭壇の貸付事業」等、多種多様でユニークな発想の事業を展開されており、聞くもの全てが参考になり、この事業を通して、市民の福祉向上に役立つ事を常に念頭において活動されていました。神崎市においても、行政からの委託事業だけでなく独自の事業に積極的に取り組む時期が来ている事を全員が感じた研修内容でした。



西海市社会福祉協議会にて研修



テープカット うまく切れるかな

平成20年1月31日、ちよだ保育園の落成式が行われました。定員150名の大規模な保育園。園庭も広く、園内の施設もよく整った明るい保育所です。4月の開所が待ち遠しいですね。

**待望のちよだ保育園完成**



広い舞台でのびのびと（城田保育所）



「よさこい」元気はつらつ（境野保育所）